

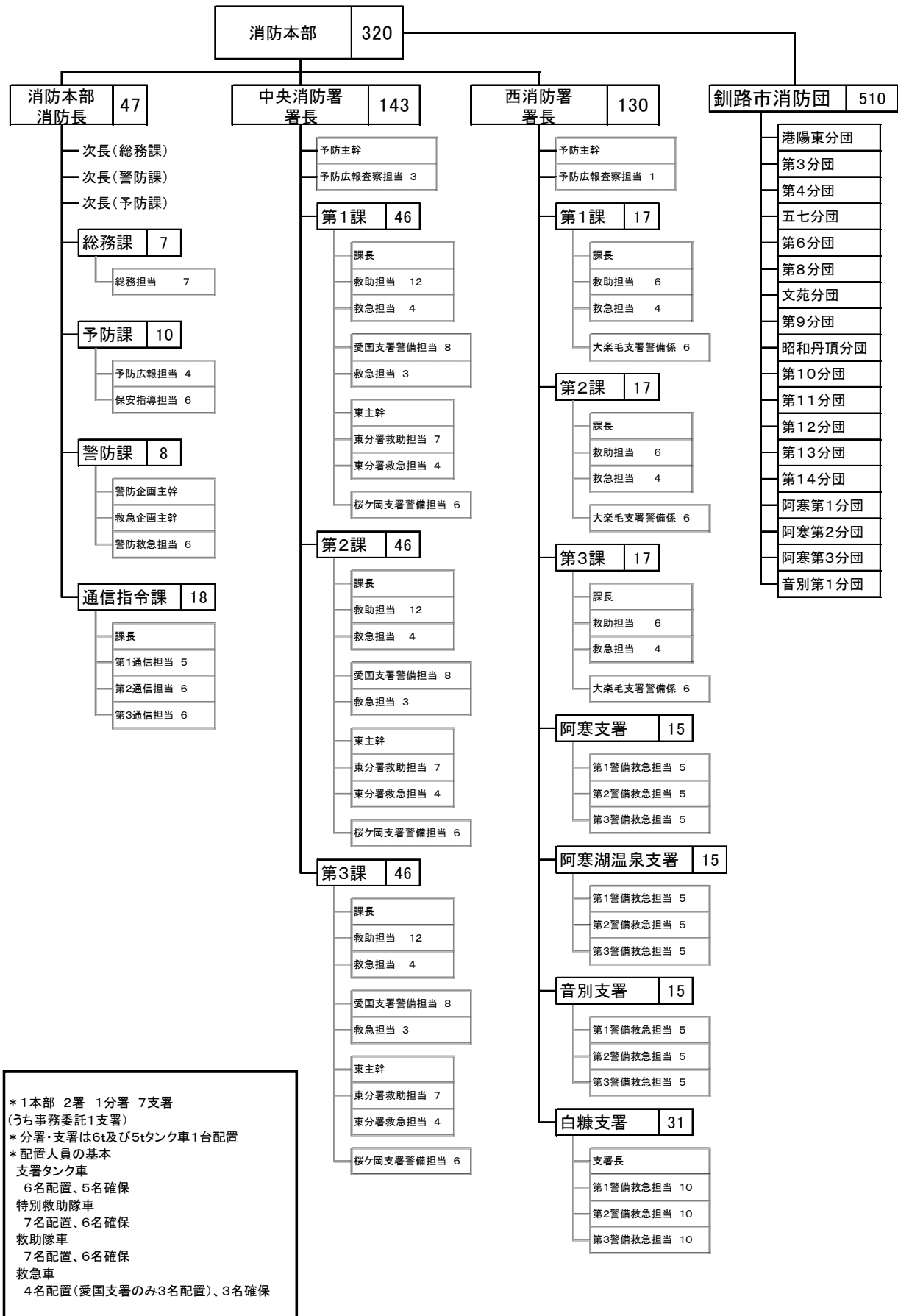
## Ⅱ 総務編



# 1 消防本部・署・支署の所在地（平成31年4月）

	所在地	電話番号	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	構造	建築 年月日
消防本部	釧路市南浜町4番8号	22-2156	1,670.63	5,766.34	鉄筋コンクリート造 4階建	平成 9.6.4
消防団本部	〃 〃	23-0424	〃	〃	〃	〃
中央消防署	〃 〃	23-0430	〃	〃	〃	〃
愛国支署	〃 文苑4丁目1番1号	37-2422	520.93	1287.64	鉄筋コンクリート造 4階建	平成 26.4.1
東分署	〃 春採7丁目3番9号	46-3488	803.36	1497.83	鉄筋コンクリート造 4階建	平成 25.4.1
桜ヶ岡支署	〃 桜ヶ岡4丁目3番30号	91-6455	298.34	398.96	鉄筋コンクリート造 一部2階建	昭和 57.12.13
西消防署	〃 鳥取南4丁目4番22号	51-1658	538.8	648.5	コンクリートブロック造 2階建	昭和 46.12.1
大楽毛支署	〃 大楽毛2丁目4番16号	57-4808	329.67	329.67	木造モルタル造 平屋建	昭和 50.12.1
阿寒支署	〃 阿寒町北新町1丁目5番1号	66-3350	436.7361	619.5247	鉄骨造 一部2階建	昭和 49.12.15
阿寒湖温泉 支 署	〃 阿寒町阿寒湖温泉3丁目8番1号	67-2702	884.027	1,317.65	鉄筋一部コンクリート 2階建	平成 3.2.5
音別支署	〃 音別町中園1丁目78番地	(01547) 6-2519	611.08	1132.55	鉄筋コンクリート造 2階建	平成 19.7.1
白糠支署	白糠町東1条南3丁目2番地20	(01547) 2-2053	479.42	949.43	鉄骨造 2階建	昭和 45.12.
釧路市消防団 港陽東分団	釧路市弥生2丁目1番33号	41-4741			旧東栄小学校の一部を 使用	
釧路市消防団 第3分団	〃 千歳町3番13号	41-5646	701.79	829.29	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和 52.12.21
釧路市消防団 第4分団	〃 緑ヶ岡1丁目21番1号	41-3297	283.99	499.42	鉄筋コンクリート造 2階建	平成 11.12.
釧路市消防団 五七分団	〃 寿1丁目1番8号	24-2381	178.86	236.41	木 造 2階建	平成 26.12.21
釧路市消防団 第6分団	〃 新富町9番20号	22-3775	278.64	411.48	木造モルタル造 2階建	昭 和 51.11.
釧路市消防団 第8分団	〃 新橋大通3丁目1番6号	22-4255	216.78	303.03	コンクリートブロック造 一部2階建	昭 和 46.7.15
釧路市消防団 文苑分団	〃 文苑4丁目1番1号	39-2811	520.93	1287.64	愛国支署に記載	平成 26.4.1
釧路市消防団 第9分団	〃 鳥取大通1丁目5番4号	51-5376	181.5	363	木造モルタル造 2階建	昭 和 40.7.
釧路市消防団 昭和丹頂分団	〃 昭和中央6丁目33番1号	55-3100	119.58	204.53	木造モルタル造 2階建	平 成 24.4.1
釧路市消防団 第10分団	〃 武佐3丁目1番25号	46-3454	365.31	430.11	木造モルタル造 一部2階建	昭 和 49.11.15
釧路市消防団 第11分団	〃 桜ヶ岡4丁目3番30号	91-4131			桜ヶ岡支署に記載	
釧路市消防団 第12分団	〃 大楽毛4丁目6番2号	57-8150	151.2	270.81	木造モルタル造 2階建	昭 和 42.10.
釧路市消防団 第13分団	〃 山花14線141番地	56-2508				
釧路市消防団 第14分団	〃 桂恋172番地	91-6807			旧桂恋小学校の一部を 使用	
釧路市消防団 阿寒第1分団	〃 阿寒町仲町2丁目6番23号		117	117	鉄骨造 平屋建	昭 和 58.12.12
釧路市消防団 阿寒第3分団	〃 阿寒町徹別市街本通2丁目		117	117	鉄骨造 平屋建	昭 和 60.11.28
釧路市消防団 阿寒第2分団	〃 阿寒町阿寒湖温泉3丁目8番1号				阿寒湖温泉支署に記載	
釧路市消防団 音別第1分団	〃 音別町中園1丁目78番地				音別支署に記載	

## 2 消防の機構（平成31年4月）



### 3 消防職員の人員・平均年齢

階級等 区分	合計	正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	事 務 吏 員
現 在 員	320	1	5	18	40	95	83	—	77	1
平均年齢	36.7	59.0	57.0	56.5	50.4	39.4	34.2	—	23.0	34.0

### 4 職員定数の状況

平成30年度定数	増 減 数			令和元年度定数
	減 員	増 員	差 引	
321人	△1	—	△1	320人

※ △は減少を示す。

### 5 消防本部・署・支署の人員配置（令和元年12月）

階級等 区分		合計	正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合計		320	1	5	18	40	95	83	—	77	1
消防本部	小計	47	1	3	3	9	17	10		3	1
	消防長	1	1								
	総務課	8		1		2	3	1			1
	予防課	11		1		2	6	2			
	警防課	9		1	2	2	4				
	通信指令課	18			1	3	4	7		3	
中央消防署	小計	143		1	7	10	44	42		39	
	中央消防署	56		1	4	4	21	14		12	
	愛国支署	33				3	10	9		11	
	東分署	36			3		10	17		6	
	桜ヶ岡支署	18				3	3	2		10	
西消防署	小計	130		1	8	21	34	31		35	
	西消防署	36		1	4	6	6	9		10	
	大楽毛支署	18				3	5	2		8	
	阿寒支署	15			1	2	4	6		2	
	阿寒湖温泉支署	15			1	2	6	4		2	
	音別支署	15			1	2	5	5		2	
	白糠支署	31			1	6	8	5		11	

## 6 消防職員採用・退職・昇任（平成31年）

区分	階級等									
	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務吏員	計
採用								10		10
再任用										
退職		2	4	2		1		2		11
昇任		2	5	8	10	12				35
派遣等(入)					2					2
派遣等(出)						1				1

※ 再任用は短時間勤務職員のため、二人一組で1名としている

※ 派遣等には消防本部と市長部局との出入や、北海道への派遣等を含む

## 7 消防財政

令和元年度は、高規格救急自動車1台、小型動力ポンプ付水槽車1台、小型動力ポンプ積載車1台の更新配置が行われ、車両の更なる強化が図られた。

また、消防職団員の教育機関への入校や講師派遣、他部局間との人事交流を実施、人材育成を積極的に推進し、各種災害に的確に対応できるよう万全を期しているところであり、これに要する経費は次のとおりである。

### (1) 過去3カ年度消防費当初予算額

区分 年度	市一般会計 予算 A (千円)	消防予算 B (千円)	$B/A \times 100$ (%)	市民一人当たり の消防費 (円)	市民一世帯当 りの消防費 (円)
	H29	97,200,000	2,674,158	2.8	15,512
H30	95,000,000	2,597,527	2.7	15,247	27,442
R1	95,300,000	2,870,250	3.0	17,076	30,387

### (2) 年度別消防予算

区分 年度	予 算 額 (千円)				
	当初予算額	内 訳			
		常備消防費	非常備消防費	施設費	人件費
H29	2,674,158	213,838	105,949	224,371	2,130,000
H30	2,597,527	210,726	96,011	188,190	2,102,600
R1	2,870,250	229,653	96,300	475,697	2,068,600

